

弊社「監視・防犯システム他」製品におけるGNU bashの脆弱性に関して

■はじめに

GNU bashとは、GNU プロジェクトが提供する、LinuxなどUNIX系のOSに含まれるコマンドを実行するためのシェル（OSの一部としてプログラムの起動や制御などを行なうプログラム）です。

この bash に任意の OS コマンドを実行される脆弱性 (CVE-2014-6271) が発見されました。

※詳細については「IPA（情報処理推進機構）」が発表した重要なセキュリティ情報を参照願います。

2014年10月

■製品の影響：影響の有無についてカテゴリ毎に以下に示します。

（カテゴリ名称は弊社HP「監視・防犯システム <http://sol.panasonic.biz/security/> 」「それ以外については <http://panasonic.co.jp/avc/psn/products/> または <http://sol.panasonic.biz/support.html> に準じます。）

カテゴリ名称	影響の有無 (無しは“bash未使用”もしくは“使用しているが影響無し”)
ネットワークカメラ(WV、DG)	無し
モニタリングカメラ(BB,VL,BL)	無し
CCTVカメラ(アナログカメラ WV)	無し
監視映像レコーダー	無し
ビデオエンコーダー、デコーダー、他	無し
映像管理ソフト	無し
産業用カメラ	無し
入退室管理 統合管理	無し インターネットからアクセスできる環境に接続しない仕様の為、 当該脆弱性による影響はございません

なお、「監視・防犯システム」以外のカテゴリやWebサイトに掲載を行っていないカテゴリについても以下に示します。

カテゴリ名称	影響の有無
音響システム (サウンドシステム)	無し